

魁電英筏堅一敗

紙相撲新聞

第147回本場所
八～九日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

魁電、英筏を下し、トップに並ぶ

魁電の初優勝か、英筏二度目の優勝か

【第四百七十七回本場所八日～九日目】

第147回紙相撲本場所は三週連続の晴天となった11月10日、秋晴れの晴天のもと少し汗ばむ陽気のなか幕内、十両の八日目と九日目に幕下、育成会も四日目といよいよ終盤戦に入り、連日の熱心な紙相撲フアンの声援により一層沸く都内には練馬国技館にて取り行われた。

中盤戦の七日目までが終わって平幕で全勝の英筏、大江錦の二名を先頭に



↑八日目、一敗で迫る魁電は全勝の英筏と対戦。格上の実力を見せつけ、一気に英筏を向正面に寄り切って、自ら優勝を一步手繰り寄せた。

↓九日目、英筏と大江錦の1敗同士の対決は、英筏が懐の深さを生かし、大江を引き落しに屠った。



大江錦●(押し倒し)○佐賀海



二横綱、二大関を破り星の差ひとつで先頭を走っていた魁電が、追走して共一敗で並び優争いのトッピンに立った。数字の上では三敗力士まで残った。数字の上では三敗力士まで残った。数字の上では三敗力士まで残った。



魁電○(寄り切り)●阿古耶

一方、負け越せば即引退！のプレッシャーで土俵に上がる鞍ノ城だが、八日目を迎えて既に5敗を喫しており残り四日間一敗もできない状況。八日目の相手は不調の磯ノ海部屋にあって、関脇で五勝を上げて、関脇で五勝を上げて、関脇で五勝を上げて。



鞍ノ城○(寄り切り)●水晶嶽

頭の2名に二敗の佐賀海、超刃、朱雀湖、江錦の4名までか？ここに来て魁電が有利という声が多いが、優勝を経験する英筏の地力も侮れない。

一敗で魁電が二敗で若ノ嶋、水晶嶽、阿古耶川、佐賀ノ海、烏帽子岳、超刃、朱雀湖の七名が迫る展開で、いよいよ優勝を左右する八日目からの終盤戦が始まった。

魁電は三敗に後退した阿古耶川を相手に立会いからの低い体勢で左を差すと、昨日同様一気に寄り切った一敗を堅守。一敗同士の対戦となった英筏と大江錦は、互角の差し手争いから大江錦のど輪を差し攻め立てるも英筏も一歩も引かず、土俵中央で堪え続けた英筏が引き落としに破って一敗を守った。

一人全勝の英筏も一敗の魁電と対戦し互角の立会いだった魁電に左を許すと一気に寄り切られ全勝を阻まれた。この結果全勝力が消えた魁電と全勝を阻止された英筏、大江錦が一敗で先頭に立ち、二敗で佐賀ノ海、超刃、朱雀湖が負う展開と変わって迎えた九日目。

一敗 魁電 英筏 朱雀湖
二敗 佐賀海 超刃

Table with 14 columns and 14 rows showing the results of the 147th sumo tournament. Columns include names like 美空富士, 鞍ノ城, 水玄, etc. and rows show the progression of the tournament from Day 1 to Day 14.